

2018年11月14日  
長楽寺  
NPO法人 サポートセンターどりーむ  
一般社団法人 良いお寺研究会  
凸版印刷株式会社

## 京都長楽寺にて、『可能性アートプロジェクト展 in 長楽寺』を開催 紅葉の名庭で障がい者アートが持つ無限の可能性を感じる美術展を開催

長楽寺(所在地:京都府京都市、住職:牧野純山、以下 長楽寺)とNPO法人 サポートセンターどりーむ(所在地:島根県出雲市、理事長:土江和世、以下 サポートセンターどりーむ)は、一般社団法人 良いお寺研究会(所在:東京都品川区、代表理事:鶴飼秀徳、以下 良いお寺研究会)と、凸版印刷株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:金子眞吾、以下 凸版印刷)の企画協力のもと、「障がい者の自立支援」、「寺院の公共的役割の拡大」、「企業の人財開発」を組み合わせることにより社会的課題解決と経済的利益を両立させ、企業の社内教育にも活用する試みとして、『可能性アートプロジェクト展 in 長楽寺』を2018年11月16日(金)より12月5日(水)まで京都長楽寺「書院」において開催します。

本展示会では、サポートセンターどりーむに在籍する7名の障がい者アーティストが、「無限の可能性」をテーマに「誰でも、一人ひとりに才能があり、無限の可能性がある」ことを独自の感性で描いた30点の作品を京都長楽寺にて特別展示します。また、来場者は、作品「さくらぼとけ」にスマートフォンをかざすと、作品が動き出すとともに、アーティストが作品に込めた想いを聴くことができるARコンテンツも楽しむことができます。



(中) 作品「さくらぼとけ」



(右) 展示会場 長楽寺

## ■ 『可能性アートプロジェクト展 in 長楽寺』の目的および役割

### ・障がい者の自立支援（サポートセンターどりーむ）

サポートセンターどりーむは、アートの制作によって障がい者の才能を開花させ、障がいのある人の雇用を促進し、自立支援の在り方を提案しています。今回、在籍するアーティストが「無限の可能性」をテーマに描いた 30 作品を展示します。

### ・寺院の公共的役割の拡大（長楽寺・良いお寺研究会）

長楽寺は、史跡名勝として四季折々に美しい風情が楽しめ、特に秋の紅葉は京の隠れるたる名所として知られています。今回、長楽寺で障がい者アーティストの作品を展示し、障がい者アートの認知拡大を支援します。

また、良いお寺研究会は、本展示会の企画に協力し、障がい者アートの認知拡大に寄与するとともに、寺社の持つ公共的な役割を活性化することで、現代における寺社の新たな可能性を見出します。

### ・AR コンテンツの提供および企業の人財開発（凸版印刷）

凸版印刷は、本展示会の企画・運営に協力し、プリマグラフィや AR コンテンツを提供しています。また、今回の取り組みを社内教育にも展開し、社員ひとり一人に「無限の可能性、才能」があるというメッセージを伝えます。アーティストの才能を価値化することで、社会的課題解決と経済的利益を両立させたビジネスモデルの構築を行うとともに、自社の次世代を担う人財育成にも活用します。

## ■ 『可能性アートプロジェクト展 in 長楽寺』 開催詳細

場所	長楽寺 書院 京都府京都市八坂鳥居前東入ル円山町 626 TEL 075-561-0589
開催日	2018年11月16日(金)から12月5日(水)
開館時間	9時00分から17時00分 長楽寺開門時間
拝観料	【11月30日(金)まで】※特別展期間のため特別拝観料 大人…650円 小・中学生…300円 【12月1日(土)から】 大人…500円 小・中学生…250円
長楽寺 URL	<a href="http://www.age.ne.jp/x/chouraku/">http://www.age.ne.jp/x/chouraku/</a>

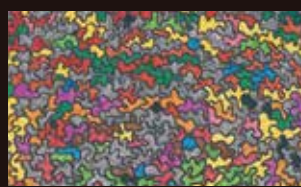
\* 本ニュースリリースに記載された商品・サービス名は各社の商標または登録商標です。

\* 本ニュースリリースに記載された内容は発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。

以 上

# 可能性アートプロジェクト展

in 長樂寺



# 可能性

感性は一人ひとり違う。  
だからこそ、  
新しい可能性がある。

2018年11月16日(金)～12月5日(水)

期間限定 特別企画展示

特定非営利活動法人 サポートセンター



一般社団法人  
良いお寺研究会

× TOPPAN

# 可能性アートプロジェクト展 in 長楽寺

「可能性アートプロジェクト展 in長楽寺」ではNPO法人サポートセンターどりーむの7名のアーティストが、「無限の可能性」をテーマに描いた30点の作品を一般社団法人良いお寺研究会、凸版印刷株式会社の協力のもと、計20日間にわたり長楽寺で特別展示します。「誰でも、ひとり一人に才能があり、無限の可能性がある」ことを独自の感性で表現いたしました。作品にスマートフォンをかざすと、作品が動き出すと共に、アーティストが作品に込めた想いを聴くことができるARコンテンツもお楽しみいただけます。

長楽寺へお越しいただいた際は、ぜひ展示会場の「書院」までお立ち寄りください。

■場 所:長楽寺「書院」 京都市東山区八坂鳥居前東入ル円山町626

■日 時:2018年11月16日(金)～12月5日(水)

長楽寺への  
アクセスはこちら



## 【NPO法人サポートセンターどりーむ】

「障がいのある人の雇用を促進し、自立支援の在り方を提案し、障がいがある人、ない人の感性が人々の心を繋ぎ合い、大きな絆を紡ぐこと」を理念とし、神話の国出雲から全国に向けて発信している。

在籍する28名のアーティストの方々から生み出される作品は見る人の心を動かし、全国各地でアート展を開催したり、映画のポスターに作品が起用されるなど、各界に向けて才能を発揮されている。

## 長楽寺【長楽寺】

祇園町の賑わいから僅か徒歩5分あまり。街の雑踏を忘れさせてくれる円山公園の少し奥に、静寂さが漂う「長楽寺」。古来より「洛中随一絶景の霊地」として文人墨客に、その景勝を愛でられ、文に詩に歌によく詠われ、古くは「今昔物語」、西行法師(当寺に入って修行)の「山家集」「平家物語」など、平安時代より有名な古典に数多く記されている。そして今も尚、史跡名勝として四季折々に美しい風情が楽しめ、特に秋の紅葉は京の隠れた名所として知られている。



## スマートフォン向けARアプリ「SATC VIEWER」について



SATC  
VIEWER

スマートフォンアプリ「SATC VIEWER」を起動し、右の作品「さくらぼとけ」にかざすと、画面上で作品が動き出します。ぜひ、お試しください。

※表面の「さくらぼとけ」にかざしても同様に作品が動き出します。

〈操作手順〉

- ①「SATC VIEWER」をApp Store、Google Playからダウンロード
- ②アプリを起動して「いますぐSCAN」をタップ
- ③「さくらぼとけ」の画像に合わせて画面を一度タップ
- ④コンテンツがダウンロードされたらカメラをもう一度画像にかざす

※対応OS: Android5.0以上、iOS9.0以上 ※アプリケーションは無料ですが、データのダウンロードには通信量が発生します。



「サポートセンターどりーむ」のアーティストの作品は下記QRコードよりご覧いただき、ご購入もいただけます。

※これらの作品はHP上にて購入できるアーティストの作品の一部で、本展示会には展示されていない作品です。

